

関西学院同窓会 神奈川支部の皆様へ

H27 社会学部卒の池井（横須賀市在住）と申します。突然のご連絡で恐縮ですが、折り入って同窓生の皆様にご支援のお願いがありましてご連絡差し上げました。

現在私は、重い心臓病を患い心臓移植が必要な横須賀市在住の岡崎雫ちゃんの命をつなぐため、移植費用を賄うためにしずくちゃんを救う会 (<http://www.save-shizuku.com/>) を立ち上げ、神奈川県内を中心に募金活動を行っています。

心臓移植が国内で出来れば問題ないのですが、現状実現可能性はかなり低く、一方でしずくちゃんには時間がないため、移植医療が進んでいる海外で治療を目指しています。しかし米国では保険がきかないため、3億1千万円という莫大な費用が掛かる見込みとなっています。

彼女は小学校2年生です。今年に入ってからすでに5回も心停止を起こしています。しかしそのたびに彼女は目を覚まし、今を生きています。大人でも怖い、心臓がいつ止まるかわからない恐怖と闘いながらそれでも必死に生きています。「小学校に戻りたい」「医者になりたい」「外で遊びたい」純粋な子どもの思いです。私はその思いを叶えるために、退職してこの会に現在は専念しています。

私は関西学院大学時代、スポーツクラブのコーチや、児童館の指導員、児童養護施設の補助スタッフなど、大学のつながりでアルバイトとして多くの子どもたちと接してきました。その中で人のために、子どものためにという志を持ちました。記者という職で社会を勉強して、またそういう現場に戻ろうとしたとき、自分の目の前にしずくちゃんが現れました。これは自分の志と通ずることだと思い、両親から相談を受けた時にはすぐに決断をして、未来ある子どものために活動しています。

厚生労働省で記者会見を行い、会を立ち上げてから二か月半が経ちました。多くの方々からの支援が集まり、約1億3千万円があつまっています。ようやく半分が見えてきたというところです。しかし目標額に対してはまだまだです。より多くの人に知ってもらい、支援の輪を広げていく必要があります。

そこで勝手ながら、関西学院の同窓生でかつ、現在は同じ神奈川県民の皆様をお願いをさせていただきたくご連絡いたしました。支援に関しては直接の寄付以外に以下のようなことで協力をお願いできないかと思っています。

- ・ 県内の街頭募金活動にボランティア参加
10月予定→8日鴨居駅、9日あざみ野駅、15日鎌倉駅、28日桜木町駅、
いずれも昼過ぎ～2時間半ほどを予定)
- ・ SNSでの発信（当会 Facebook へのいいね）など各々での周知活動
- ・ 所属企業、団体内での募金、または募金箱、チラシの設置
- ・ 周知活動の場所提供（今度総会で話させていただくような形のもの）

以上、無理難題なものも含めて、可能性があるものを列挙させていただきました。誠に勝手ながら、同窓生のよしみとして、そして同じ県内の未来ある子どもの命をつなぐ活動の趣旨をご理解頂き、何らかの形で協力していただけると幸いです。何卒、宜しくお願い致します。

しずくちゃんを救う会 代表 池井将（イケイ ヨウ）
ikeysho1130@gmail.com 080-6137-2247